

# 日本の原子力開発

(中) ニューヨークでの座談会

物欲しげに騒ぐな  
本社 日本では最近、たいへんイギリスから原子力輸入しようという音が強くなっている。

出席者  
湯川 秀樹  
福庭 信之  
木庭 二郎  
武田 暁  
奥田特派員

福田 こんどまた、イギリスとアメリカに調査団が出なければならぬ。あつたつと調査団をくり出すのは不可解です。原子力を見上げ、意味もあるのだらう。日本からも二十数名が招待されて出席することになり、私も同じだ。日本でも類や文献で分ることを見に来る。

## 基礎研究、将来のため「長期計画」の認識が必要

AUG 24 1956

研究が出来ねば

湯川 私は原子力開発にたむけようとして、(笑)ヨーロッパでジュネーブとリンダウ(西ドイツ)の二つの会議に出、九月中旬からシアトルで開かれる国際

湯川 私どもは種別からいっても基礎研究を強く見るので、うしても色目が見るさうにはあるが、どの国の原子力研究所も基礎部門にかなりの力を入れて



湯川 とにかく、米英ソ仏どこを見ても、原子力は本当の長期計画としてやっている。まず、原子力は長期計画だという認識が、日本でも必要だと思ふ。

湯川 私どもは種別からいっても基礎研究を強く見るので、うしても色目が見るさうにはあるが、どの国の原子力研究所も基礎部門にかなりの力を入れて

湯川 私どもは種別からいっても基礎研究を強く見るので、うしても色目が見るさうにはあるが、どの国の原子力研究所も基礎部門にかなりの力を入れて